

令和3年12月21日

記者発表

## 公開シンポジウム「大王墓と紀伊の首長墓」

### ―百舌鳥・古市古墳群と岩橋千塚古墳群に映し出された政治と社会―を開催します

和歌山県と堺市との共催で、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と特別史跡「岩橋千塚古墳群」を中心とした古墳シンポジウムを首都圏で開催します。

大王家一族とそれに従う中央豪族が築いたと考えられる「百舌鳥・古市古墳群」と紀伊の有力豪族である紀氏が築いたと推定されている「岩橋千塚古墳群」を比較し、古墳時代の歴史や文化、ヤマト王権と近隣地域の関わりや各地の地域性などについて、日本の古墳時代研究を牽引する考古学研究者が講演、討論を行うことにより、「百舌鳥・古市古墳群」と「岩橋千塚古墳群」の価値と魅力を全国に発信します。

- 1 日 時 令和4年2月13日（日）12：15～16：30（11：30 開場）
- 2 会 場 有楽町よみうりホール  
（東京都千代田区有楽町1丁目11-1）
- 3 定 員 950人（先着申込順）  
※ライブ配信を予定しています
- 4 参加費 無料
- 5 プログラム
  - (1) 開会
  - (2) 講演1「世界史における日本の古墳」  
松木武彦（国立歴史民俗博物館教授）  
報告1「百舌鳥・古市古墳群」  
十河良和（堺市文化観光局文化部世界遺産課長）  
報告2「岩橋千塚古墳群」  
丹野 拓（紀伊風土記の丘学芸課長）  
講演2「5世紀から6世紀の古墳群からみた政治と社会」  
和田晴吾（兵庫県立考古博物館館長）  
講演3「5世紀から6世紀の埴輪と儀礼」  
辰巳和弘（元同志社大学教授）
  - (3) 討論会 パネリスト：和田晴吾氏、辰巳和弘氏、中村浩道（紀伊風土記の丘館長）  
コーディネーター：松木武彦氏
  - (4) 閉会



松木武彦氏



和田晴吾氏



辰巳和弘氏



中村浩道

## 6 申込みについて（先着申込順）

(1) 申込受付期間：令和4年1月17日（月）～令和4年2月10日（木）

(2) 申込方法：堺市電子申請システム

### ■堺市電子申請システム

以下の URL または右記 2 次元コードよりお申込みください。

<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/sei/index.html>



### (3) 注意事項

- ・お申込みにおいて知り得た個人情報、本事業の案内、連絡以外の用途には使用しません。
- ・先着順で受付し、定員に達し次第受付を終了します。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、中止・変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

## 7 ご来場にあたっての注意事項

本事業の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施します。

- ・発熱（37.5 度以上）や咳・咽頭痛などの症状、だるさ、息苦しさなど体調に不安のある方のご来場はご遠慮ください。
- ・会場での検温や消毒、マスクの着用にご協力をお願いします。
- ・当日ご来場の際は、電子申請システムから返信される参加証を持参ください。

## 8 主催等

主催：和歌山県、堺市

後援：読売新聞社

担当課	文化遺産課
担当者	佐々木宏治 瀬谷今日子
連絡先	073-488-6504